

地域でいこう委員会

部会長 矢ヶ崎 たか子(地域生活支援センターCoCo ながの)

副部会長 両角 佳子(ほっとらいふ相談室) 春日 直子(さくら相談支援センター)

運営委員会担当者 大堀 尚美(ポプラの会) 土井まゆみ(絆の会)

ケアマネ連絡会担当者 田中みどり(南部障害者相談支援センター) 伊藤清孝(地域移行コーディネートセンター)

長野市障害福祉課担当者 小林由典 係長

1 年間テーマ

地域移行支援の啓発・推進

地域移行支援連絡会・にも包括学習会を通じた事業所・多職種間の連携・協働の強化

2 部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
4	20	長野市保健所	16	今年度の活動計画について	年間計画の検討・共有
5	24	長野市保健所	16	地域移行支援連絡会について 退院支援連絡会	各連絡会の内容検討
6	20	にじいろキッズらいふ	32	第3回地域移行支援連絡会	情報共有・地域移行支援計画の作成
7	20	長野市保健所	17	地域移行支援連絡会 来年度事業計画・予算案	地域移行支援連絡会の振り返り 事業計画の検討
8	30	アクトスペース	70	退院支援連絡会	情報提供・グループワーク
9	11	長野市保健所	14	退院支援連絡会 にも包括研修会	連絡会の振り返り 長野市にも包括構築事業の進捗状況・ 研修会について
1	19	長野市保健所	16	精神科病院訪問 にも包括研修会 来年度事業計画	病院訪問の様子・内容の共有 研修会内容確認・当日の動きについて 今年度の振り返り
1	23	東部文化ホール	40	にも包括研修会	にも包括の概要・グループワーク
2	7	諏訪圏域障害者総合支援センター	21	精神障がい者地域生活支援研修会	ガイドブック作成について
3	5	長野市保健所	未定	R6 年度事業計画	来年度事業計画について

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

○地域移行支援連絡会(6月20日)

○長野市精神科病院への訪問・看護リーダーとの意見交換会(10月11日)

○精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る学習会(1月23日)

令和5年度 事業報告

4 課題について

(1)主な検討課題

- ①地域移行支援連絡会の開催
- ②長野市退院支援・地域生活支援連絡会への協力
- ③精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築の為の学習会の開催
- ④様々な立場の参加者による意見交換・活動

(2)検討の目的と結果(現状)

R4 年度に作成したガイドブックを元に、各研修を通して多職種での連携を取りやすくし、地域移行を推進するために以下の活動を行った。

- ① 一般相談支援事業所だけでなく、地域移行・退院後の生活に関わる支援者にまで範囲を拡大し開催。
- ② 8月30日長野市退院支援・地域生活支援連絡会への協力
- ③ にも包括協議会設置に向けて、にも包括の基本から今後の発展に向けた学習会の開催
- ④ 様々な立場の参加者との協議・情報共有を行った

(3)引き続き検討が必要とされる課題

- ① 地域移行支援の推進
- ② 病院との対話を継続し、退院後の生活を支える資源・サービスについて、必要としている人に的確に情報が行き渡り、退院に向けて検討する場を持つ
- ③ にも包括の協議会・退院支援連絡会への協力
- ④ 当事者・地域のニーズ調査

(4)部会の運営体制について

来年度はにも包括の協議会の場として、連動していく方向と聞いている。

構成メンバーは医療関係者が増えている。地域移行支援を担う一般相談支援事業所のメンバー・不定期でも入院施設のある複数の精神科病院の関係者にも参加してもらう事で、より実行性のある委員会を目指したい。

5 総括(1年間を振り返って)

今年度は2ヶ月に1回の開催とした。

研修会や学習会の開催等、関係機関と顔を合わせ話し合う機会を多く持つ事が出来た。

にも包括の構築に向けて現在取り組んでいる事を、より多職種で課題を共有する事が協議会に繋がっていくため、来年度も顔の見える関係を作る為に、連絡会の開催・病院訪問を継続。社会資源の把握・掘り起こしの為、地域で活躍している支援者から話を聞きたい。